



株式会社ギフトホールディングス

2023 年 10 月期第 2 四半期決算説明会レポート（書き起こし）

2023 年 6 月 20 日

登壇

田川：皆様、こんにちは。代表取締役の田川です。本日はお忙しい中、オンライン決算説明会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。本日は 2023 年 10 月期の上期の業績結果と、中期経営計画の進捗についてご説明させていただきます。

それでは、上期の業績ハイライトについてご説明させていただきます。

— 業績サマリー —



売上高	営業利益	経常利益
10,729 _{百万円}	1,021 _{百万円}	1,051 _{百万円}
前年同期比：+36.0%	前年同期比：+32.1%	前年同期比：△12.2%

業績概要

コロナ禍においても事業拡大の歩みを一切緩めることなく積極的な事業展開を進めてきたことにより、**大幅な増収、営業増益**を達成。**上期計画を達成**し、通期計画に対しても**順調に進捗**。

1店舗当りの品質向上

店舗QSCAの継続的な向上と通常営業を継続できたことにより、**直営店舗の1店舗当たり月商が過去最高**を記録。

価格改定の実施

原材料価格等の高騰、賃上げ見込みに対して、**柔軟に価格改定**を実施し、改定後も**客足への影響はなし**。

物流センターの全店対応

北関東・東北物流センターを新規開設し、SCMの視点をもって物流効率、物流コスト、物流時間の大幅改善を進める体制を**直営店全店に整備**。

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

3

上期はようやくウィズコロナと呼ばれる状況となり、徐々に従来の生活スタイルに戻りつつありますが、一方で、原材料価格の高騰や円安の進行、賃上げによるインフレは続く経営環境でありました。当社では、インフレに対してコスト上昇分のみを価格改定させていただくという方針のもと、運営を続けてまいりました。

原価率はやや上昇したものの、人件費は低下してきており、原価・人件費の両面でインフレの影響を吸収できております。結果として、前年同期に比べて大幅な増収、営業増益を達成し、通期計画に対しても順調に進捗しております。

— 2023年10月期 第2四半期ハイライト



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

4

業績以外の重要指標につきましては、こちらに記載の通りです。

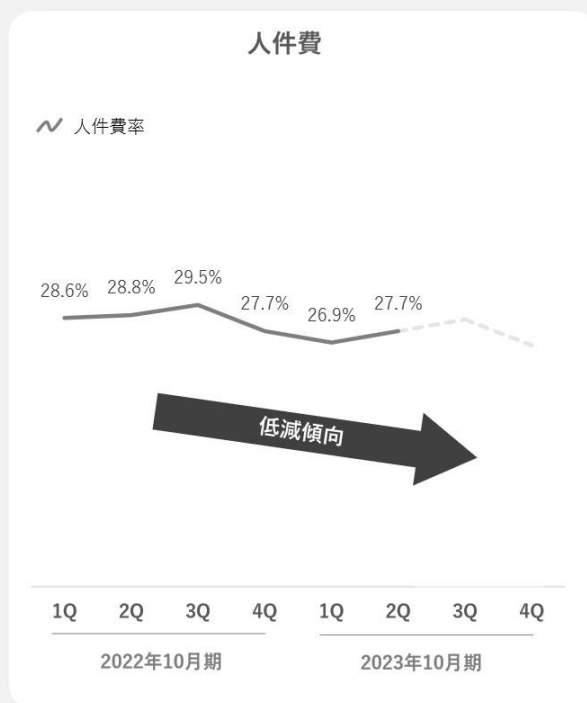
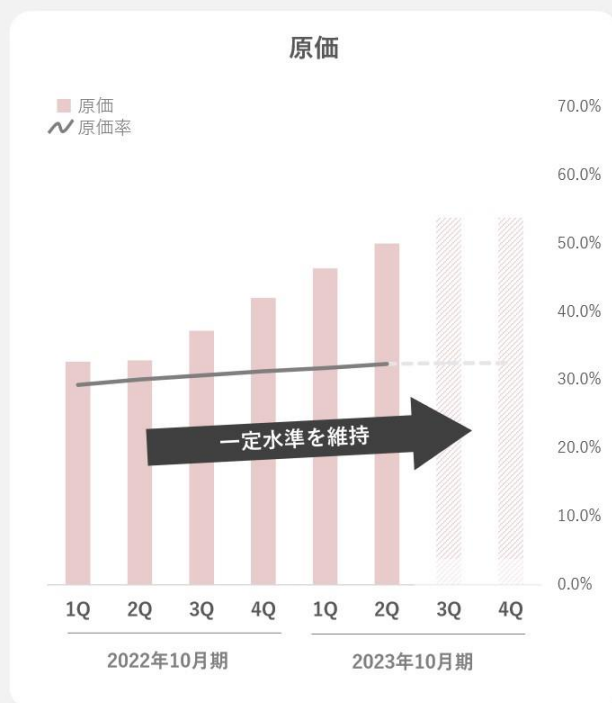
既存店に関しましては、価格改定後もコロナ前以上のお客様にご来店いただいております。年間目標を上回って進捗しております。出店に関しましては、プロデュース店は既に年間目標を達成しており、直営店と合わせて、年間出店目標を達成するべく取り組んでおります。

— 高い収益性を維持

インフレに対して、原価・人件費の両面からコントロールし、高い収益性を維持

原価：コストUP分を価格転嫁する方針のため、原価率は上昇傾向も一定水準を維持。

人件費：価格改定による客足への影響はないため、人件費率は低減傾向。



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

5

続きまして、インフレの影響についてご説明いたします。

当社では、インフレに対して原価・人件費の両面からコントロールすることで、高い収益性を維持することができております。コストアップ分のみを価格改定させていただくという方針のため、原価率は上昇傾向となりますが、一方で客足への影響はないため、人件費率は低下傾向となっております。

インフレに対して原価率・人件費率を両面からコントロールできていると考えています。

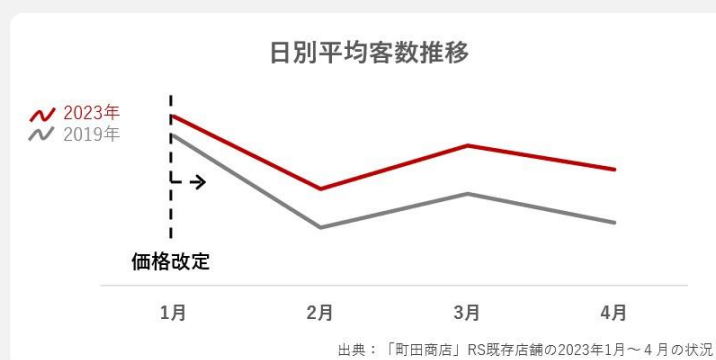


価格改定の影響

価格改定後も客足はコロナ前の水準を上回っており、今後の価格改定の余地あり

2023年1月に価格改定を実施

価格改定による客数の減少は見られず、
コロナ前の2019年を超えるお客様に
ご来店いただいている



2019年比

売上（円）



113.7%

客数（名）



103.1%

客単価（円）



110.2%

出典：「町田商店」RS既存店舗の2023年1月～4月の状況

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

6

続きまして、価格改定の影響につきましてご説明いたします。

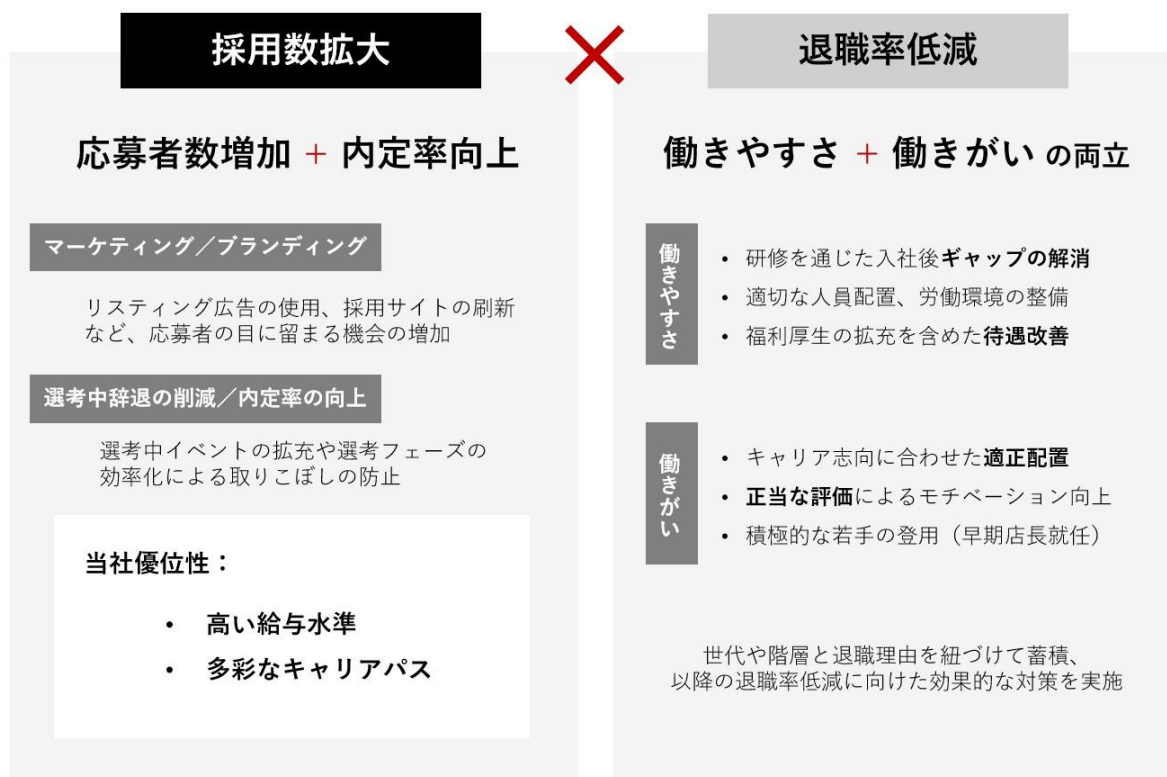
直営店では昨年2回、本年1回の価格改定を実施いたしました。本年1月1日の価格改定後4カ月間の数字では、2019年比で客数が103.1%、売上が113.7%と、コロナ前よりも多くのお客様にご来店をいただくことができました。

これまで継続してQSCAを高め続けてきたことと、できるだけ通常営業を継続する方針で運営してきたためだと考えております。なお、コスト上昇が続いた場合、追加的な価格改定を実施するのにかんしましては、現時点では明言できませんが、状況を見ながら慎重に検討していきたいと思っております。

— 人財確保について



出店戦略を支える人財の確保に向け、採用数の拡大と、退職率低減に努める



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

7

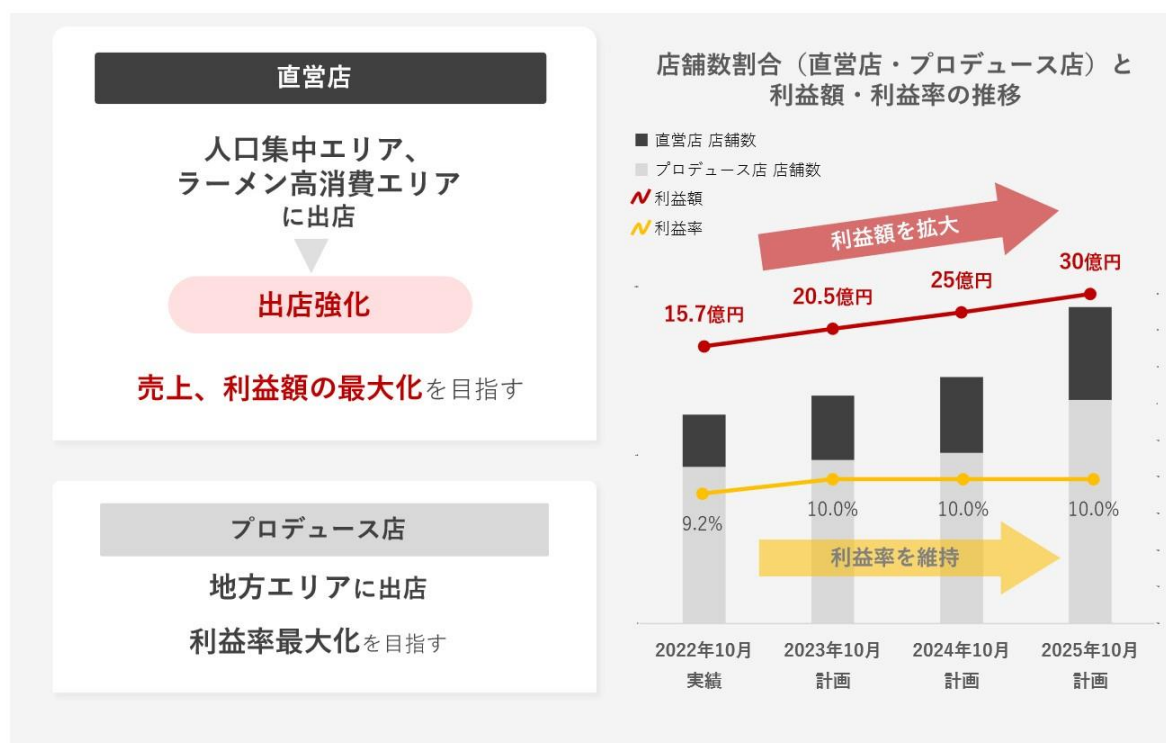
続きまして、人財確保につきましてご説明いたします。

経済活動が通常化してきており、外食業界はコロナ前のように人手不足感が強まってきております。当社でも人財確保が経営上の最重要課題であると認識し、採用強化、退職率低減に向けて取り組んでおります。



— 出店戦略と売上、利益額、利益率の関係について

マーケットの大きい人口集中エリアに直営店を出店し、地方エリアにプロデュース店を出店することで、売上、利益額を最大化させるとともに、利益率の維持を目指す。



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

8

続きまして、出店戦略と売上、利益額、利益率の関係についてご説明いたします。

当社では現在直営店の比率を高めております。人口集中エリア、ラーメン高消費エリアに直営店を出店し、それ以外のエリアにプロデュース店を出店することで、高い利益率を維持しつつ、売上、利益額の最大化を目指しております。

— 中期経営計画進捗 豚山アプリのリニューアル



豚山アプリをリニューアルし、全店対応。
顧客の囲い込みによる来店機会の増加を目指す。

新アプリの主な機能

- 来店スタンプ**
ご来店時に1回1スタンプが付与され、スタンプ数に応じてクーポンと交換が可能
- クーポン**
スタンプ交換クーポンを一覧表示
- 店舗検索**
キーワード検索／GPSによる店舗検索が可能
- お知らせ**
イベント／会員限定のお得情報など、プッシュ通知でご案内
- オンラインショッピング対応**

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

9

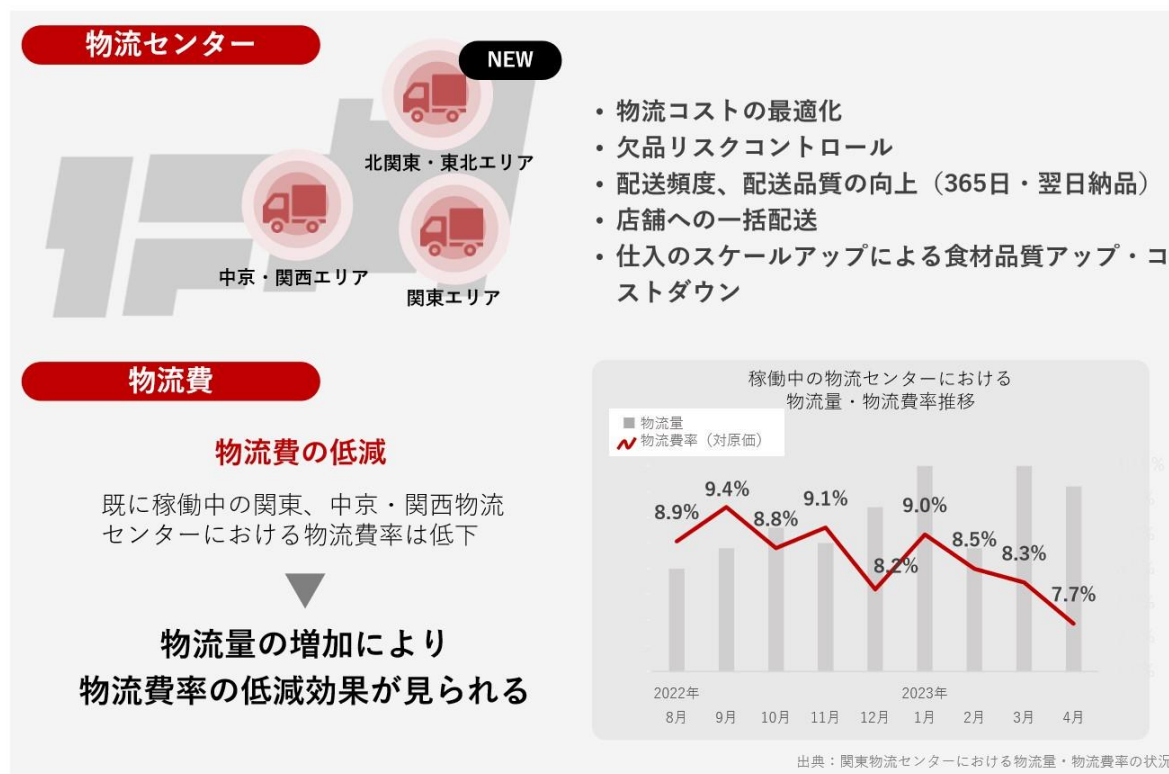
続きまして、中期経営計画の進捗として、DX についてご説明いたします。

一部の店舗で実験導入をしていた豚山アプリを 4 月にリニューアルさせて、全店対応いたしました。町田商店の完まくアプリ同様、常連のお客様に楽しんで使っていただけるよう、これからも取り組んでまいります。



— 中期経営計画進捗 北関東・東北物流センターの新規稼働

2023年4月1日より北関東・東北エリアをカバーする物流センターの稼働が開始し、全直営店に物流センターからの納品が可能に。



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

10

続きまして、中期経営計画の進捗として、製造・購買・物流体制の強化についてご説明いたします。

4月1日に北関東・東北物流センターを稼働させました。これにより、全直営店に物流センターからの納品が可能となりました。物流センターからの納品により、物流コストの低減、欠品リスクのコントロール、配送頻度、配送品質の向上による365日・翌日納品。各店舗への一括納品により、店舗での納品・検品作業の省力化。仕入のスケールアップによる食材品質アップ、そしてコストダウンを図ることができています。

また、直営店のみならずプロデュース店向けも同じ物流センターからの配送に乘せることで、質の高い食材がコストを抑えて配送でき、ギフトグループ全体で製造・購買・物流のシナジー効果を享受できていると考えております。

一 損益計算書



	2022年10月期 2 Q		2023年10月期 2 Q			計画比			
	金額	売上比率	金額	売上比率	前年同期比	上期計画	達成率	通期計画	進捗率
売上高	7,891	-	10,729	-	+36.0%	9,700	110.6%	20,500	52.3%
売上原価	2,343	29.7%	3,444	32.1%	+46.9%	-	-	-	-
売上総利益	5,547	70.3%	7,285	67.9%	+31.3%	-	-	-	-
販管費	4,774	60.5%	6,263	58.4%	+31.2%	-	-	-	-
営業利益	773	9.8%	1,021	9.5%	+32.1%	970	105.3%	2,050	49.8%
経常利益	1,197	15.2%	1,051	9.8%	△12.2%	1,000	105.2%	2,080	50.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	816	10.4%	726	6.8%	△11.1%	680	106.8%	1,380	52.6%

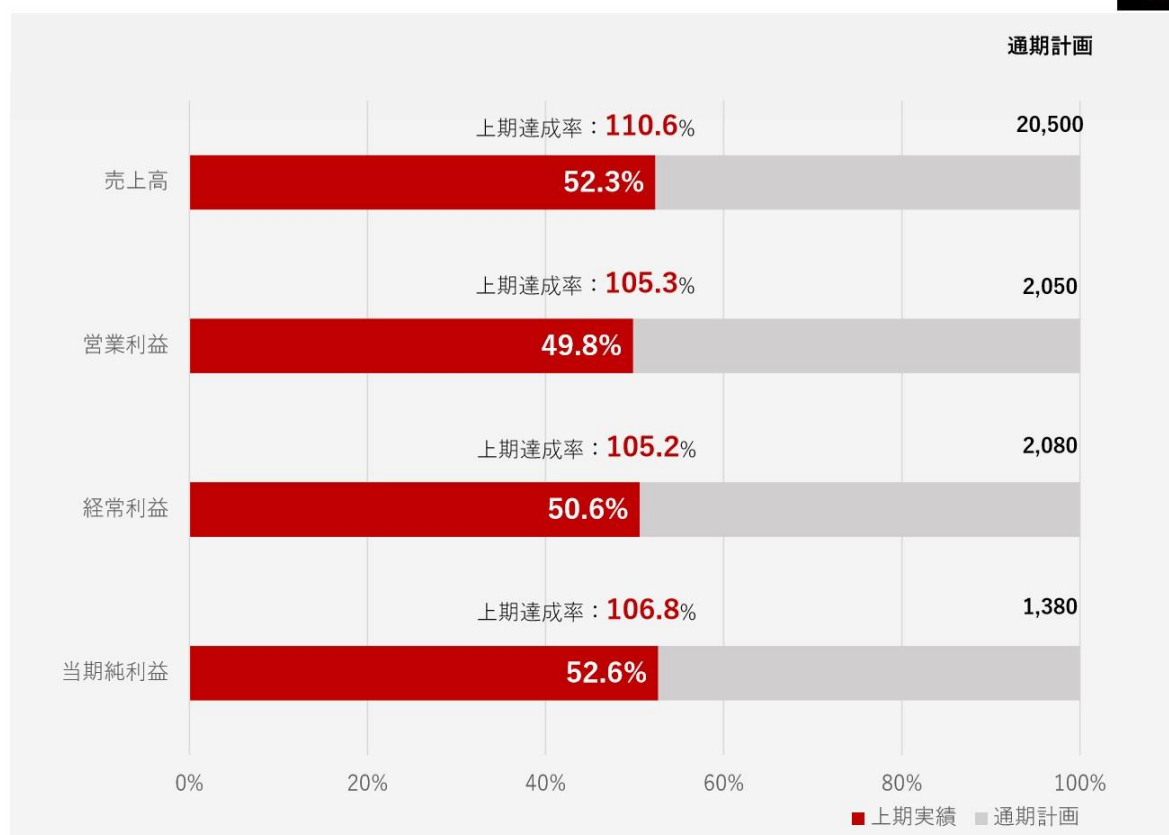
Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

12

それでは続きまして、上期の決算概要をご説明いたします。

上期の業績についてご説明いたします。売上高は107億と、上期計画を10.6%上回って着地いたしました。営業利益以下に関しましても、上期計画を上回って着地することができました。

— 計画に対する業績進捗率



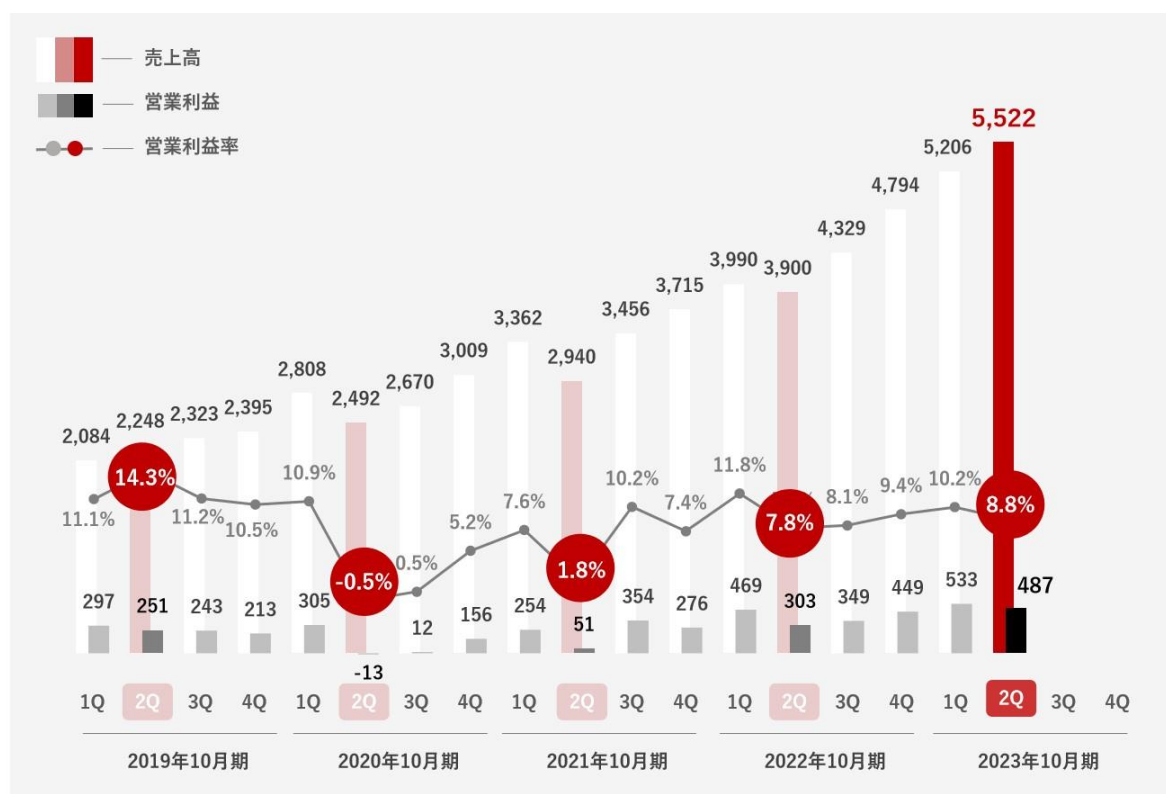
Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

13

続きまして、通期計画に対する進捗率についてご説明いたします。

上期計画に対して全ての項目で計画を上回っており、通期計画に対して極めて順調に進捗していると考えております。

売上高及び営業利益 四半期推移（会計期間）



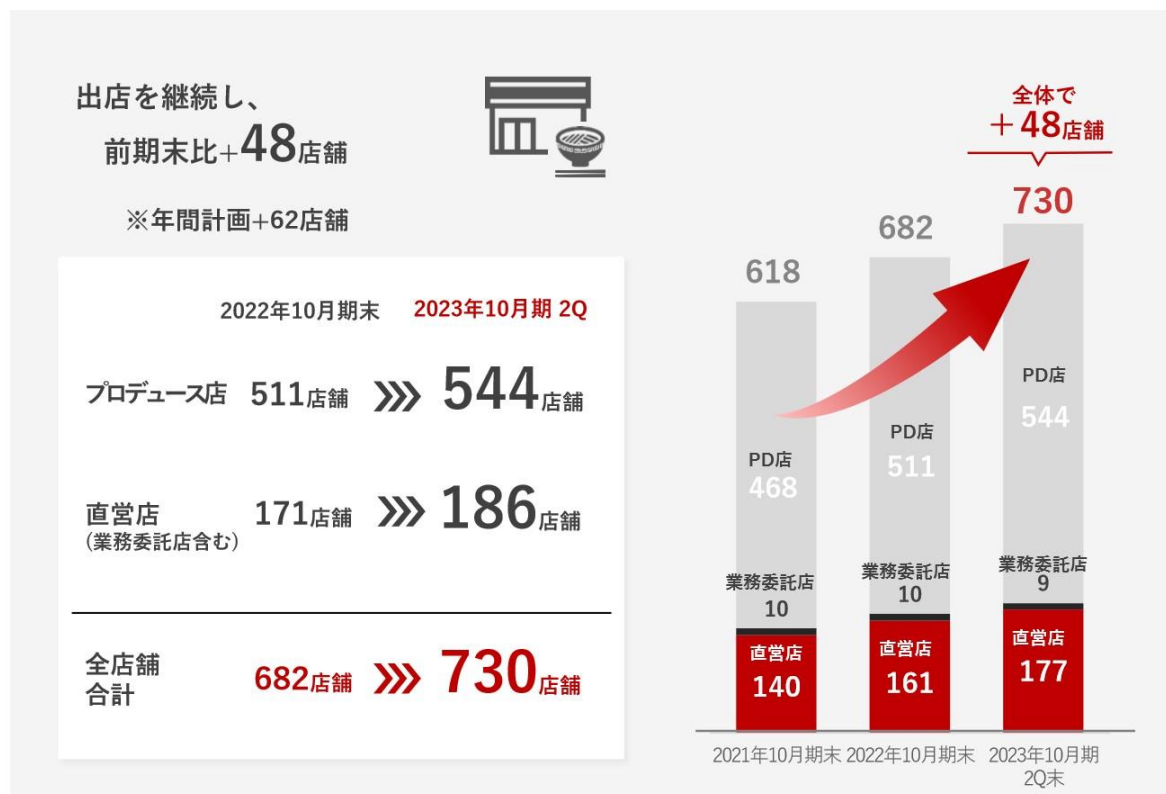
Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

14

続きまして、売上高・営業利益の四半期推移についてご説明いたします。

前年同期は1月から3月にかけて時短要請もあったことから、前年同期比で大幅な増収増益を達成することができました。

— 出店状況



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

15

続きまして、出店の状況に関してご説明いたします。

通期で 62 店舗の純増計画に対して、上期で 48 店舗の純増となり、順調に進捗をしております。

— 店舗の状況（直営店/ブランド別増減内訳）



ブランド					
店舗数	124	25	5	1	5
増減 (前期末比)	+8	+4	—	—	-1

ブランド					その他
店舗数	3	6	1	3	4
増減 (前期末比)	—	+2	—	+1	+2

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

16

続きまして、直営店のブランド別の店舗数、出店数についてご説明いたします。

町田商店に次ぐブランドとして豚山、そして元祖油堂の店舗数を拡大させております。また、海外では北米一の乗降客数を誇るペンシルバニア駅の構内にあるニューヨーク 3 号店をオープンいたしました。

— 店舗の状況（増減内訳）



(単位：店)		22年10月期末 店舗数	23年10月期 2Q末 店舗数	増 減
直営店事業	関東	104	111	+7
	東日本（関東以外）	36	43	+7
	西日本	19	20	+1
	海外	2	3	+1
	小計	161	177	+16
	業務委託店	10	9	-1
売上高	合計	171	186	+15
プロデュース事業	関東	306	316	+10
	東日本（関東以外）	107	114	+7
	西日本	83	96	+13
	海外	15	18	+3
	合計	511	544	+33
店舗数総合計		682	730	+48

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

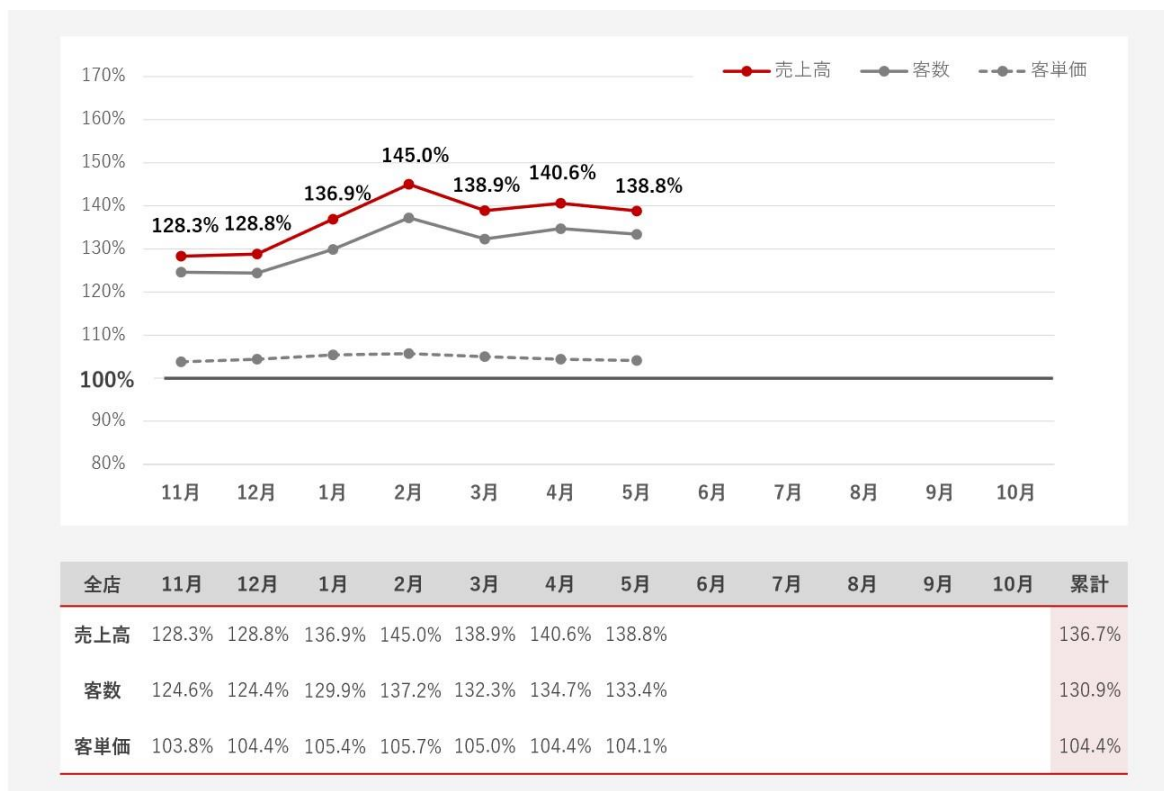
17

続きまして、地域別の店舗数の増減内訳についてご説明いたします。

直営店は出店戦略通り、人口集中エリアとラーメン高消費エリア、プロデュース店も出店戦略通り地方エリアに出店し、全国にバランスよく出店することができております。

直営店事業の売上は 89.3 億円となり、前年同期比プラス 36.9%、プロデュース事業の売上は 17.9 億となり、前年同期比プラス 31.4%となりました。

国内 直営全店 対前年同月比売上高推移

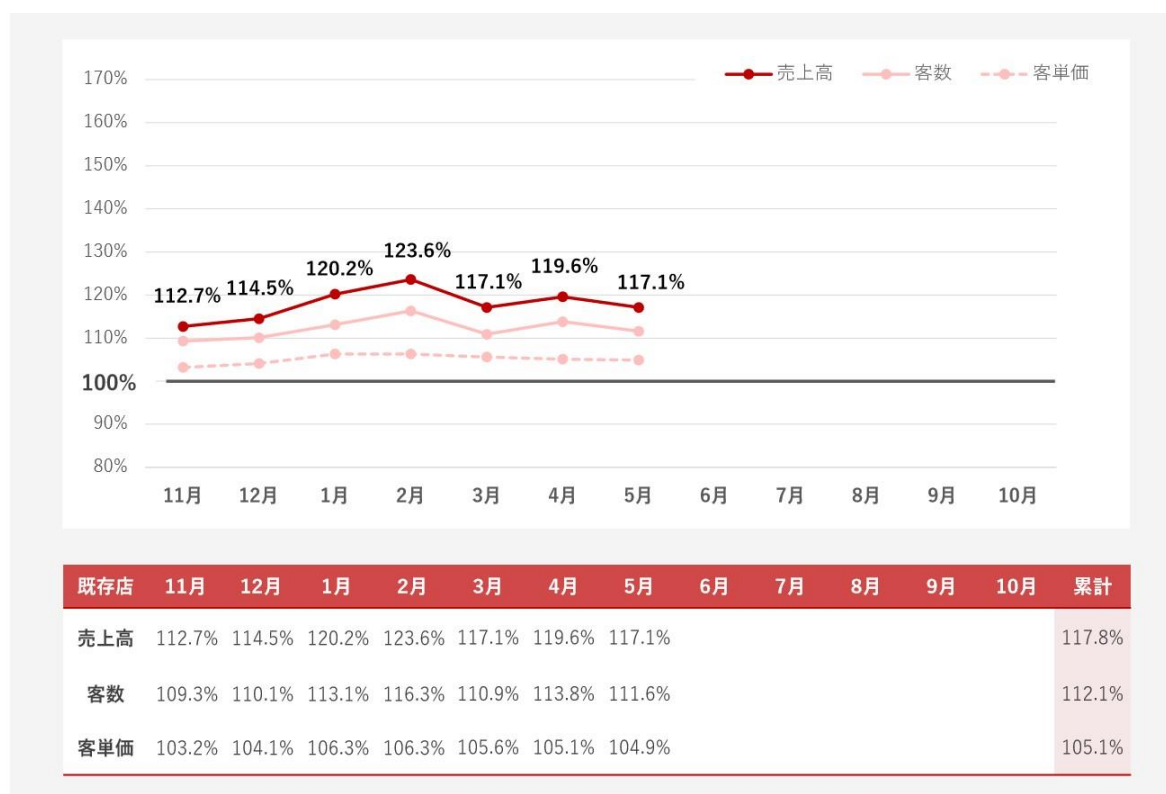


Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

18

国内直営全体での売上、客数、客単価、昨対の推移です。スライドの通りとなります。

国内 直営既存店 対前年同月比売上高推移



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

19

こちらは国内直営既存店の売上、客数、客単価、昨対の推移です。

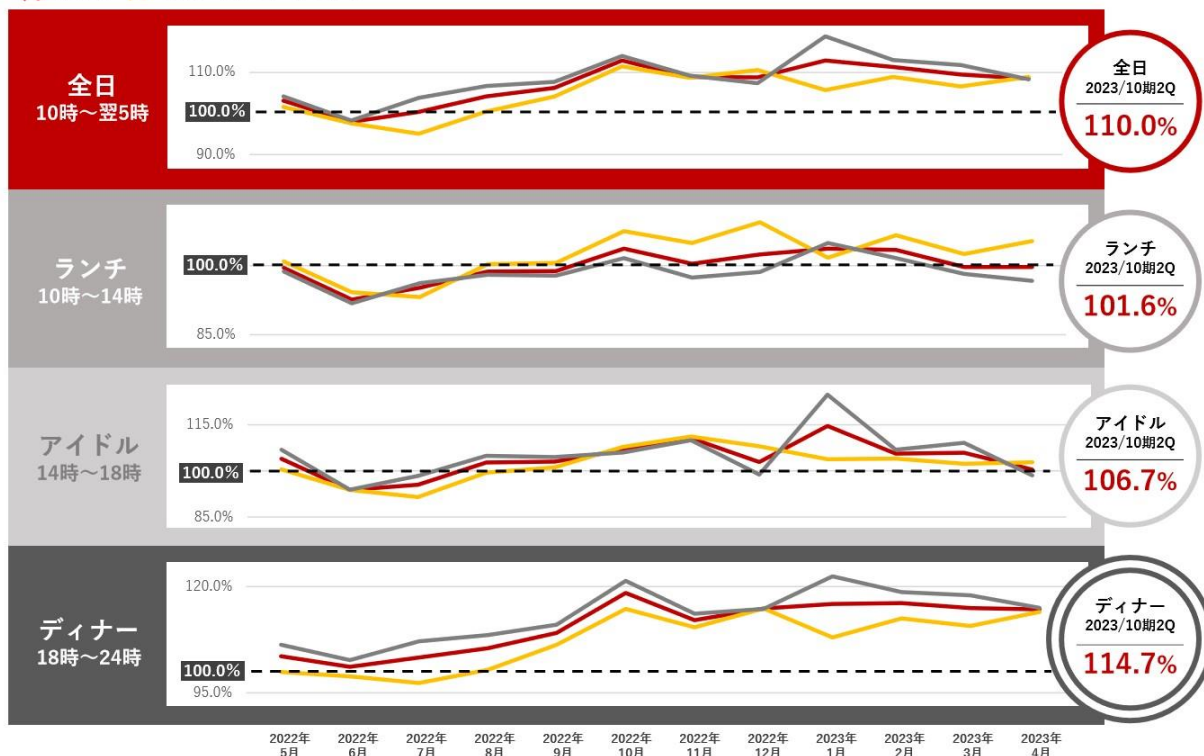
— コロナ禍以前との売上比較

対2019年10月期比（直営既存店、宅配売上を含む）



全ての時間帯で2019年を上回る売上水準

全店舗 駅近 ロードサイド



Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

20

続きまして、直営店の時間帯別、立地別の売上についてご説明いたします。

こちらは直営店の既存店の 2019 年比を示したグラフです。宅配も含んだデータとなっております。上期の 2019 年比は、従来から好調であったロードサイドに加えて、駅近が回復してきたことから、全時間帯でコロナ前の売上を超えることができております。結果として上期の 2019 年比は売上 110.0%、客数 99.4%、客単価 110.3%となりました。

— B/Sサマリー —



(単位：百万円)	2022年 10月期	2023年 10月期 第2四半期	増減額	(単位：百万円)	2022年 10月期	2023年 10月期 第2四半期	増減額
流動資産	3,026	3,147	+120	流動負債	2,937	3,391	+453
現金・預金	2,007	1,819	△187	買掛金	544	708	+163
売掛金	405	486	+80	短期借入金	42	34	△7
その他	613	840	+227	一年内長期借入金	512	612	+99
固定資産	6,878	8,172	+1,294	その他	1,838	2,036	+197
有形固定資産	4,756	5,521	+764	固定負債	1,535	1,932	+396
無形固定資産	122	263	+140	長期借入金	1,195	1,552	+357
投資その他資産	1,999	2,387	+388	その他	339	379	+39
資産合計	9,905	11,319	+1,414	負債合計	4,473	5,323	+850
				純資産合計	5,432	5,995	+563
				資本金	793	797	+3
				資本剰余金	1,045	1,049	+3
				利益剰余金	3,463	4,040	+576
				自己株式	△0	△0	—
				その他包括利益累計	130	105	△24
				非支配株主持分	—	3	+3
				負債純資産合計	9,905	11,319	+1,414

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

21

次に、B/S の状況についてご説明いたします。

自己資本比率は 53%と目標とする 50%を達成しており、今後も財政状態の健全性を維持しつつ、出店に対する投資を継続していきたいと考えております。

C/Fサマリー



(単位：百万円)	2022年10月期 2Q	2023年10月期 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	962	1,016	+ 54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890	△1,845	△ 954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148	303	+ 451
現金および現金同等物に係る換算差額	28	5	△22
現金および現金同等物の四半期末残高	1,823	1,487	△335

主な内容

■営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益：1,066百万円
減価償却費：276百万円
法人税等の支払額：△494百万円

■投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出：△828百万円
敷金及び保証金の差入による支出：△94百万円

■財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額：△7百万円
長期借入金の借入による収入：760百万円
長期借入金の返済による支出：△302百万円
配当金の支払額：△151百万円

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

22

続きまして、キャッシュ・フローの状況です。

営業キャッシュ・フローがプラス 10.1 億円、投資キャッシュ・フローがマイナス 18.4 億円となりました。

— 2023年10月期 通期業績見通し（変更なし）



中期経営計画を着実に進め、大幅な増収・営業増益を計画

2022年10月期 実績			2023年10月期 予想		増減率
(単位：百万円)	金額	売上比率	金額	売上比率	
売 上 高	17,015	—	20,500	—	+20.5%
営 業 利 益	1,571	9.2%	2,050	10.0%	+30.4%
経 常 利 益	2,442	14.4%	2,080	10.1%	△14.9%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,538	9.0%	1,380	6.7%	△10.3%

Copyright 2023 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

24

通期の業績見通しに変更はございませんので、これで上期の業績報告のご説明とさせていただきます。

決算説明としてのご説明は以上となりますが、今後も短期的な成長や利益を追うのではなく、おいしいラーメンを世界中にお届けできるよう、将来にわたって成長を続け、皆様のご期待に応えていきたいと考えております。

ご清聴ありがとうございました。